



## 01 集団栄養食事指導のご案内

栄養管理科では主治医の指示の基、食事を通じて疾患の改善や進行の抑制を目的に集団による栄養食事指導を行っています。内容は管理栄養士による食事の話の他、医師や看護師、薬剤師など多職種による教室を行っています。それぞれの専門分野からの話が聞け、治療に対する理解が深まると思いますので多くの方々の参加をお待ちしています。

### 【集団栄養食事指導 年間予定】

糖尿病教室：年2回（管理栄養士）年1回（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士）

心臓病教室：年3～4回（医師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士）

腎臓病教室：年2回（医師、看護師、管理栄養士、薬剤師）

詳しい日時についてはホームページに掲示しますのでご確認ください。

なお、糖尿病教室と心臓病教室については、当院で治療を受けている方が対象となります。また3割負担の方は240円、1割負担の方は80円の指導料が算定されますのでご了承ください。

## 02 健康診断の胃カメラは「鼻から」も選べます！

口から入れる胃カメラが一般的でしたが、当健診室では「経鼻内視鏡（鼻からの胃カメラ）」も選択できます。

### ●経鼻カメラのメリット

・吐き気が少ない

舌の奥にスコープが触れにくいため、「オエッ」となる嘔吐反射が起こりにくいです。

・会話ができる

口がふさがらないので、検査中でも医師・スタッフと会話ができます。

・細いスコープで負担が少ない

経鼻用は細径スコープを使用するため、違和感や痛みが軽減されます。比較的楽に受けられる傾向があります。

### ●経鼻カメラのデメリット

・鼻の通り道が狭い方は難しいことも。鼻腔が細い方、鼻中隔が曲がっている方などは挿入できない場合があります。



・鼻出血の可能性

鼻の粘膜を傷つけて出血する場合があります。

・画質

経口カメラに比べてスコープが細いため、画像の鮮明さがやや劣る場合があります。

### ●どちらを選べばいいの？

どちらにもメリット・デメリットがあります。

嘔吐反射が強い → 経鼻がおすすめ！

精細な画像で検査したい → 経口がおすすめ！

※当健診室では、鎮静剤を使用した胃カメラ検査は行っておりません。

※ご加入の健康保険組合によっては、バリウム検査から胃カメラへ変更した際に差額が発生する場合があります。

人間ドック・各種健康診断の予約電話

0533-95-0030（平日 8:30～17:00）

## 03 特定看護師を知ってください

豊川市民病院は、2025年8月に「特定行為に関する看護師の研修指定機関」として認定されました。現在、当院には7名の特定看護師が在籍しており、創傷処置、血糖管理、呼吸管理（気道確保や人工呼吸器の操作）、血液ガス分析など、専門的なケアを提供しています。今後は、PICC（末梢挿入型中心静脈カテーテル）の挿入にも対応していく予定です。

特定看護師は、安全に医療行為を実施できるよう専門的な研修を修了し、医師の包括的な指示のもとで特定行為を行っています。そしてチーム医療の一員として、医療の質の向上と患者さんに安心していただける看護を提供しています。



## 04 DPAT 災害派遣精神医療チーム



豊川市民病院と愛知県は、令和7年2月14日に『愛知DPAT（災害派遣精神医療チーム）』に関する協定書』を締結しました。

当院DPATは、愛知DPAT研修を受講した医師を含む多職種で構成され、毎月第2水曜日の16時から「DPATチームミーティング」を実施して各種訓練・学習活動を行い、地震など大規模災害発生における派遣要請に対応できる体制の強化に取り組んでいます。



クロノロジー訓練の様子

## 05 膝関節痛予防

膝関節痛の原因に変形性膝関節症があります。主な原因は「加齢」「肥満」「外傷」「O脚」などです。スポーツで膝関節を酷使して骨や軟骨が摩耗する可能性がありますが、逆に運動不足による肥満も膝に負担がかかるため、特に40代からは適度な運動を常に維持することが、予防には欠かせません。運動の方法については、最近はYouTubeなどで紹介されているものが多く見られますが、内容にばらつきがあるため、必ず専門家が監修した信頼できる情報を基に実施してください。

最後に、症状を重症化させないために「正座ではなく椅子を使う生活をする」「階段をなるべく避ける」「体重を管理する」「正しい靴やインソールを利用する」といった

生活習慣を変える工夫が必要です。



## 06 メッセージ BOX 皆さまからのご意見と回答

院内各所に皆さんからのご意見やご要望をお受けする「メッセージボックス」を設置しています。ここでは、お寄せいただいたご意見、ご要望の一部を紹介します。

**Q** 病院内のネット接続承認は1日1回で済まないのか？何度も必要があるのでしょうか？

**A** 患者サービス向上の一環として公衆無線LANインターネット接続サービスを導入しているところですが、回線混雑による速度低下、接続不良の抑制やセキュリティの観点から、概ね4時間に1回接続認証を行って頂く必要があります。

ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

